

空を飛ぶ楽しさを伝え、地域を盛り上げたい

川根町葛籠で、パラグライダースクールを運営する宮田歩さん。島田の自然を生かして地域を盛り上げるため、体験者を指導しています。

【空飛ぶ楽しさに魅せられて】
大学生の頃は、ハンググライダークラブで活動していた宮田さん。パラグライダーと出合ったのは、社会人になってからだと言います。



「大学卒業後は、一般企業のサラリーマンをしていましたが、2年後にパラグライダーのスクールに就職しました。飛行技術を身に付けてからは、どんだんのめり込んでいきましたね。ハンググライダーよりも道具が小さく畳めるなどの機動力があり、簡単に飛べるのが特徴です。10年ほど競技者として活動し、2014年のW杯ブラジル大会では優勝できました。それを契機に、競技者から退き、夢だった自分のスクールを開校しました」

宮田さんは、パラグライダーの魅力、毎回新しい発見があることだと語ります。

「天候によって上昇気流が違いため、選べる高度が変わりますし、晴れと曇りではもちろん景色も変わります。自



地域を生かすパラグライダー指導員
宮田歩さん（川根町葛籠）

然の力を借りて飛ぶことは、そのエネルギーを感じることででき、地球と一体になっているように感じますよ」

【島田の自然に魅せられて】
「川根鶴山の七曲パラグラ

イダーパーク」の実現は、地権者が伐採作業をしている際に、地元愛好家たちが偶然思いついたのがきっかけでした。宮田さんは、今年度から川根に住居を移し、島田を中心に活動しています。

「パラグライダーで地域の観光資源を活用したいという地元住民や市からの要望があり、インストラクターとして招かれることになりました。地域の人たちがとてもアットホームで、移住者にも優し

く、家にお裾分けの野菜を届けてくれたり、活動を後押ししてくれたりしています。私も地元の祭りに参加して、早く溶け込めるように努力しているところです」

【自然で地域を盛り上げたい】
「愛好家を増やすことも大事ですが、川根地区は、温泉があつてSLがあつて、観光資源が豊富な地域です。そこにパラグライダーも加わって、SLから見上げると空を飛んでいる人がいるようなビジョンが浮かびます。川や山など素晴らしい自然環境を生かして、カヌーや登山など他のアクティビティも盛り上げていけば、より人が集まり『アウトドアスポーツの聖地』にできるのではと思ひ、地域の人たちと構想を練っているところです。スポーツに限らず、いろいろな特技を持った人が集まれば、より面白い企画が生まれると思います」
宮田さんは、豊かな自然を生かした新しい風を島田全域に届くように吹き込んでくれています。



Shimadajin File #73

2015年に開設した「川根鶴山の七曲パラグライダーパーク」

島田 Story 人